

まめってえ通信

第8号

平成22年11月15日

発行
NPO法人
まめってえ鬼無里
住所 長野市鬼無里
日影 4258-1
電話 050-3736-6218
FAX 020-4622-9939
毎月1回ぐらい発行
URL <http://www.kinasa.net>
mail mamettee@kinasa.net
まめってえ鬼無里

あなたにとっての「ここちよい鬼無里」とは？

10月30日、オーストリアのヴェルフエンベング村のペーター村長をお迎えして国際ワークショッップを開催しました。テーマは「これからのここちよい鬼無里を考えると、訪れる人にとっても、訪れる人にとっても「ここちよい」鬼無里にするにはどうしたら...」

「きなさごころ」とは、鬼無里を心地よくしていくプロジェクトの総称です。

その「きなさごころ」記念すべき第一回目のイベントである今回の国際ワークショッップで、アンケートを取りました。まずは「あなたにとってここちよい鬼無里とは？」

自給自足を進めていき、安心して生活できる地域
(60代女性・鬼無里在住)

地域の雰囲気や土地柄・人柄がよいこと
(30代女性・地区外在住)

年を取っても自然体で暮らせる鬼無里であること
(60代女性・鬼無里在住)

バイオマスにより、自然とエネルギー、工業が正しく合わさった村
(20代男性・地区外在住)

きなさごころ

仲良しの方が笑って集える地域
(60代男性・地区外在住)

「また来たい」と思える、「住んでみたい」と思える
(70代男性・鬼無里在住)

親・子・孫で暮らしていけるようになればいいかも。自然と共に生きる
(20代女性・地区外在住)

夏、涼しく過ごすことができ、地元産の食材でおいしいごはんが食べられること
(40代男性・地区外在住)

家族で食事ができる
(30代男性・鬼無里在住)

自然の中で生かされていることを感じられる鬼無里
(男性・鬼無里在住)

都会から抜け出てこの地区に入ると、心と体が癒されます。
(70代男性・地区外在住)

子どもの笑い声が聞こえる鬼無里
(鬼無里在住)

何の不安もないということ
(20代女性・地区外在住)

安心したくらし
(50代男性・鬼無里在住)

11月23日に、交通システムについて意見を出してもらう会を行います。鬼無里全体の交通について検討していきますが、まずは地元住民、とりわけ保育園・小学校・中学校保護者が、鬼無里の交通システムに何を求めているのかを教えてください。長所短所を洗い出し、やるべきことを浮き彫りにしてみたいと思います。

きなさごころ

きなさのごはん …ないものは食べない…秋のランチ会開催

11月13日、「ふっとうっど」をお借りしてとうふづくりをしました。今回のメニューは『えごまくらぶ・だいずくらぶ』で収穫した、無農薬大豆で作った、できたての「おぼろ豆腐」に、おからの入ったサラダやケーキ、旬の野沢菜や大根葉の炒め物ときのご汁。総勢42名で美味しくいただきました。「豆腐ってわりと簡単に作れるんですね」という発見、「うちの子がいつもより沢山食べてる」という嬉しい声。

ごはんのおはなしのテーマは「調味料」。何を隠そう今回使った味噌もしょうゆも鬼無里産の自家製!!う～ん、なんて贅沢なんだろう♪

<いろは堂ギャラリー情報> 11月17日～12月6日 朝比奈克文 陶芸 (2010年のギャラリーは終了)2011年は春から再開

雑感

理事 和田 修

私はUターン組です。幼い頃から「長男、跡取り」の言葉を祖父から聞かされ、自分もそのつもりで大きくなりました。

第二の職場、地元の農協に勤めることで鬼無里地域の隅々まで知ることが出来ました。その中でお年寄り、特に鬼無里の人口区分で最も多い七十歳代の独り及びご夫婦で暮らしておられる家庭の多いことに驚かされました。

私の自宅は鬼無里地域で公共施設までの距離、長野市街地までの公共交通機関の利便性、農耕地の条件など全ての面で最も良い地区にあります。その様な地区でもここ数年独り暮らし、空家、耕地の荒廃が進んで来ました。

これからの五年・十年後にはおそらく半数以上の家が空家になり、耕地も後継者がいないことからそれに比例し荒廃が進むことと思われまます。

その様な時に「まめってえ鬼無里」の設立に参加し、仲間と、また「まめってえ鬼無里」の賛同者と元氣な鬼無里創りに働けることが楽しくなりました。

自分の出来ることを行なって悔いの無い一年、五年、十年を過ごし頑張ってみたいと思っています。

そして十年後、今年の設立時に描いた持続可能な鬼無里がそこに在ることを願っています。

お蔭を持ちまして会員数が百五十余名となりました皆で頑張りたいと思います。